



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月14日

上場会社名 市光工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 7244 URL <http://www.ichikoh.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) ヴィラット クリストフ
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 久野 友徳 (TEL) 0463-96-1442
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	86,141	△6.4	3,739	72.7	4,982	48.1	3,873	52.6
2024年12月期第3四半期	92,068	△16.5	2,165	△56.4	3,364	△35.2	2,538	△53.7

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 3,673百万円(△6.2%) 2024年12月期第3四半期 3,917百万円(△48.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	40.26	—
2024年12月期第3四半期	26.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	121,363	73,246	59.6
2024年12月期	130,089	70,951	53.8

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 72,350百万円 2024年12月期 70,048百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	6.50	—	6.50	13.00
2025年12月期	—	7.00	—		
2025年12月期(予想)				7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	121,000	△3.6	5,400	10.6	6,200	△4.9	3,900	△12.8	40.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期 3 Q	96,431,141株	2024年12月期	96,363,161株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	181,821株	2024年12月期	181,424株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期 3 Q	96,215,614株	2024年12月期 3 Q	96,167,539株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、春闘による賃上げや政策支援により、個人消費は底堅さを維持し、設備投資も堅調に推移し景気は緩やかに回復しました。

米国は、雇用の伸びの鈍化が鮮明となり、関税影響に伴う不透明感がある一方、個人消費や設備投資は底堅さを維持しました。アセアンでは、インドネシアは政府による一連の景気刺激策が消費を下支えし、景気は持ち直しており、マレーシアは堅調な民間消費と投資に加え、輸出の回復が成長を下支えしました。タイは内需の不振が続いているうえに通貨高の影響で外需も減速し景気の減速基調は鮮明になりました。

このような環境のもと、当第3四半期連結累計期間における自動車生産台数は、日本国内では車両認証問題の影響による生産減少から回復があったものの、一部自動車メーカーの生産減の影響により前年同期比で減少となりました。アセアンにおいてはマレーシアとタイの生産は回復基調であるものの、インドネシアの生産は低調であり、アセアン3か国としても前年同期比で減少となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間におきまして、売上高は主力の日本国内は一部自動車メーカーの生産減の影響が大きく、アセアンではインドネシアは好調であるがタイとマレーシアが振るわず市場比で減少したため、売上高は86,141百万円(前年同期比6.4%減)となりました。利益面については、新製品立上げに伴う金型収益、価格転嫁の推進、不良率の改善や生産性の向上などにより、営業利益は3,739百万円(前年同期比72.7%増)、経常利益は4,982百万円(前年同期比48.1%増)となり、また、親会社株主に帰属する四半期純利益についても、事業構造改善費用456百万円等を計上したものの、3,873百万円(前年同期比52.6%増)と、減収増益となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における当社グループの報告セグメントは、自動車部品事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は121,363百万円となり、前連結会計年度末比で8,726百万円の減少となりました。流動資産が全体で8,812百万円減少したものの、固定資産が全体で86百万円増加したことによるものであります。

流動資産の増減は、現金及び預金が1,451百万円増加したものの、売掛金及び受取手形が3,297百万円、短期貸付金が6,652百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

固定資産の増減は、持分法適用会社への投資簿価の増加を主因として、投資その他の資産が全体で832百万円増加したものの、有形固定資産が全体で741百万円減少したことなどによるものであります。

負債は48,116百万円となり、前連結会計年度末比で11,021百万円の減少となりました。主として、流動負債が全体で11,476百万円減少したことによるものであり、固定負債は全体で454百万円の増加とほぼ横ばいの水準で推移しました。

流動負債の増減は、電子記録債務が5,417百万円、未払費用が2,898百万円、その他の流動負債が2,500百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

純資産は73,246百万円となり、前連結会計年度末比で2,294百万円の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上が3,873百万円ある一方で、配当金の支払が1,298百万円あることなどによるものであります。

(百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月期)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)	増減
資産の部			
流動資産	66,512	57,699	△8,812
固定資産			
有形固定資産	38,461	37,719	△741
無形固定資産	38	34	△4
投資その他の資産	25,076	25,909	832
固定資産合計	63,577	63,663	86
資産合計	130,089	121,363	△8,726
負債及び純資産の部			
流動負債	48,082	36,606	△11,476
固定負債	11,055	11,510	454
負債合計	59,138	48,116	△11,021
純資産	70,951	73,246	2,294
負債純資産合計	130,089	121,363	△8,726

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期通期の業績予想につきましては、2025年2月14日に公表したものから修正はございません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報並びに合理的であると判断する一定の情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により異なる結果となる可能性がありますので、ご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,642	14,093
受取手形及び売掛金	16,606	13,308
電子記録債権	19	66
商品及び製品	1,888	1,642
仕掛品	3,210	2,947
原材料及び貯蔵品	3,668	3,975
短期貸付金	25,917	19,265
その他	2,639	2,464
貸倒引当金	△81	△65
流動資産合計	66,512	57,699
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,921	12,314
機械装置及び運搬具（純額）	16,355	15,148
工具、器具及び備品（純額）	1,791	1,540
土地	1,781	1,762
リース資産（純額）	3,520	4,643
建設仮勘定	5,089	2,310
有形固定資産合計	38,461	37,719
無形固定資産		
その他	38	34
無形固定資産合計	38	34
投資その他の資産		
投資有価証券	3,474	3,903
関係会社出資金	12,921	13,391
長期貸付金	769	820
繰延税金資産	3,891	3,741
その他	4,022	4,055
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	25,076	25,909
固定資産合計	63,577	63,663
資産合計	130,089	121,363

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,091	14,221
電子記録債務	16,554	11,136
短期借入金	13	—
リース債務	635	692
未払法人税等	1,021	639
未払費用	6,406	3,508
賞与引当金	910	1,045
役員賞与引当金	34	18
製品保証引当金	973	403
その他	7,441	4,941
流動負債合計	48,082	36,606
固定負債		
リース債務	3,731	4,587
退職給付に係る負債	7,148	6,771
資産除去債務	26	26
その他	149	124
固定負債合計	11,055	11,510
負債合計	59,138	48,116
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,003	9,017
資本剰余金	2,523	2,536
利益剰余金	54,853	57,428
自己株式	△56	△56
株主資本合計	66,323	68,925
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	4,195	3,790
退職給付に係る調整累計額	△470	△364
その他の包括利益累計額合計	3,724	3,425
非支配株主持分	902	895
純資産合計	70,951	73,246
負債純資産合計	130,089	121,363

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	92,068	86,141
売上原価	76,487	71,173
売上総利益	15,580	14,968
販売費及び一般管理費	13,415	11,229
営業利益	2,165	3,739
営業外収益		
受取利息	133	229
受取配当金	6	1
持分法による投資利益	1,332	1,402
その他	34	6
営業外収益合計	1,507	1,640
営業外費用		
支払利息	95	171
支払手数料	5	0
為替差損	207	218
その他	0	6
営業外費用合計	308	396
経常利益	3,364	4,982
特別利益		
固定資産処分益	—	47
関係会社株式売却益	889	—
特別利益合計	889	47
特別損失		
固定資産処分損	62	117
事業構造改善費用	179	456
特別損失合計	242	573
税金等調整前四半期純利益	4,010	4,456
法人税等	1,359	491
四半期純利益	2,650	3,965
非支配株主に帰属する四半期純利益	112	91
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,538	3,873

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	2,650	3,965
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△89	—
為替換算調整勘定	852	104
退職給付に係る調整額	187	105
持分法適用会社に対する持分相当額	315	△502
その他の包括利益合計	1,266	△292
四半期包括利益	3,917	3,673
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,721	3,575
非支配株主に係る四半期包括利益	196	98

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準第28号 2022年10月28日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第46号 2024年3月22日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

なお、当該実務対応報告第7項を適用しているため、当第3四半期連結財務諸表においては、グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等を計上しておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

「II 当第3四半期連結累計期間(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおりであります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

当社グループは、自動車部品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「自動車部品事業」及び「用品事業」の2区分から、「自動車部品事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、前連結会計年度において、ライティング事業への選択と集中を進め、経営資源を重点配分することを目的として、用品事業に区分していた連結子会社であるPIAA株式会社の全株式を譲渡したことで、用品事業に区分される事業がなくなったため、報告セグメントを単一セグメントとして開示することが、当社グループの経営実態をより適切に反映するものと判断したためであります。

この変更により、当社グループは「自動車部品事業」の単一セグメントとなることから、前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	4,274百万円	4,154百万円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。